

## 学位論文審査基準

### 人間文化研究科

専攻名	学位論文審査基準
言語科学専攻 (博士後期課程)	<p>[博士論文]</p> <p>博士論文は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行う、または、その他の高度な専門的業務に従事するに必要な高度の研究能力を有することを示すものをもって合格とする。その判定は以下の基準に基づいて行う。</p> <p>(研究テーマ、研究目的の適切性) 研究のテーマや目的が明確であり、学術的な意義を有していること。</p> <p>(研究方法の適切性) 先行研究を踏まえており、研究のために必要な文献、資料等を適切に収集、分析、処理していること。</p> <p>(論証の適切性) 論旨の展開が明確であり、整合性を有していること。</p> <p>(専門性) 専攻分野について自立して研究活動を行い、専門的業務に従事するのに必要な高度の研究能力を有すると認められること。</p> <p>(形式的妥当性) 学位論文としてふさわしい形式(注記、引用文献の取扱等)を有し、文章表現や表記、図版、表などの使用が適切であること。</p> <p>(学術上の貢献) 新たな知見や独創性が備わっており、主張に学術上の貢献が認められ、当該分野の学会誌などへの投稿が十分に考えられる水準に達していること。</p> <p>(倫理性) 研究者倫理が守られていること。</p>